

ポコ・ア・ポコ NO126

2011年8月発行
川口自主夜間中学（自主学習会）
金子 TEL090-1843-1082

題名はスペイン語 一歩ずつという意味

<http://www11.ocn.ne.jp/~ginga/>

「川口自主夜間中学」 その②

NHKさいたまアナウンサー日誌

こんにちは。石垣真帆です！

その①に続いて、去年の暮れから取材を続けている、

「川口自主夜間中学」についてです。

今年2月にテレビで放送させて頂いた、

川口自主夜間中学・26年目の冬の1シーン、

「外国人の子供たちの高校受験と、支える先生」についてお話しします。

川口という土地柄、日本語を習う為に来ている外国人が多い中で、

毎年秋頃から、特に真剣に勉強しているのが、

高校の受験をしようという、10代後半から20代の外国人の若者たちです。

特にここ数年は、母国で中学を卒業して日本に来たけれど

中学卒業の資格だけでは仕事に就くにも難しくなっていて、

皆、「なんとか高校だけは卒業したい」という思いで、

川口自主夜間中学を頼ってやってくるのです。

私が取材を始めた去年 12 月の時点で勉強していたのは、

定時制の高校を受験しようという

クルド人とベトナム人の 17 歳の男子、中国人の 16 歳の女子の 3 人でした。



3 人とも問題を解く実力は十分にあるのですが、

大変なのは、日本語の問題文の理解。

日常会話はほぼ完璧にできる彼らも、読み書きはまだ苦手です。

更に、問題文ともなると独特の言い回しがわかりにくいこともあって、

せっかく問題を解く力があっても、問題の意味がわからなかったり、

求められている答えを書けなかったりするのです。

元・高校の国語教師の遠藤芳男さんを中心に、スタッフ達がつきっきりで、

過去の入試問題集を使って、

設問の意味を正しく理解して、答えをきちんと書く練習を繰り返していました。

更にスタッフは、勉強以外の面も支えました。

受験する3人を、希望校の学校見学に連れていったり、

中学卒業の証明書を母国から取り寄せる手続きに奔走したり、

入試手続きに必要な書類を一緒に取りに行ったり・・・

日本でのやり方に不慣れな3人のために、

親身になって全面的なサポートをしているんです。

面接の練習も何度も繰り返しました。

取材するにつれて、「なぜ、そこまでできるのだろう？」という思いが高まり、

率直に遠藤さんに聞いてみたことがあります。

その答えは、

「子供たちは、誰かが後押ししてやれば、ちゃんと夢に向かっていける。

外国人であっても、この日本の国で一生懸命生きていこうとしている子ども達を

応援するのは、それは私達大人の当然な義務。

あたりまえのことだと思っている。

後押しして本人が喜び、それを見て僕らも嬉しい。それが一番。」

というものでした。



遠藤芳男さん

本当に、頭が下がる思いです。

遠藤さんの言葉を聞いて、自分自身もそんな気持ちを持って

生きていかなくてはならないと、身も心も引き締まりました。

もちろん、生徒たちにもその気持ちはしっかり伝わっています。

受験生のうち、今回の放送で中心となって登場してもらった

中国人の黄・錦英さんは、

「ここに来て本当に良かった。自分一人だと手続きも何もわからないけれど

先生のおかげで高校も受験できる。ここ(川口自主夜間中学)は楽園みたい」

と話してくれました。

(黄さんは、中国で中学を卒業し、去年姉と2人で来日。先に日本に来ていたお母さんと

3人で暮らしながら、昼間はコンビニエンスストアで働いて家族の生活を助けています。

「パティシエになる」という将来の夢に向かって、専門学校に入る為にどうしても高校入学を

果たしたいのだそうです。)



黄 錦英さん(16)



そして・・・

3月4日、黄さんをはじめ、3人の定時制高校入学試験が行われました。

今年も定時制高校の倍率は高く、

3人が受けた高校でも1割以上が入れないという状況。

しかも言葉のハンディもあって、見通しはかなり厳しいのではと

本人たちも、遠藤さんからスタッフも心配していたのですが・・・

見事に、3人とも合格しました！！

様々な事情で生まれ育った国を離れて、日本で生きていこう、頑張ろう、と

覚悟を決めた彼ら。

話してみると、夢もちゃんと持っていて、シャイながらも一生懸命で

真っすぐな思いが伝わってきて、

なんとか高校で学ぶ機会をつかんでほしいと思っていました。

3月10日の午前中に遠藤さんから合格の連絡を頂いた時は、

嬉しくて電話口で叫んでしまったほど！

本当によかった。

この4月から、3人一緒に元気に通っています。

川口自主夜間中学は、

学びたいという気持ちがある人ならば、誰でも無料で通えます。

興味をもたれた方、

代表の金子和夫さんに問い合わせてください。

(2011年4月時点、様々な相談に応じていらっしゃいます)

電話:090-1843-1082

メール:kaneko-3@chorus.ocn.ne.jp

「川口自主夜間中学」その①でも、詳しく紹介しています。

よかったら読んでください☆

投稿者:石垣真帆 | 投稿時間:10:00